

Excel データを自動で Indd にレイアウトする

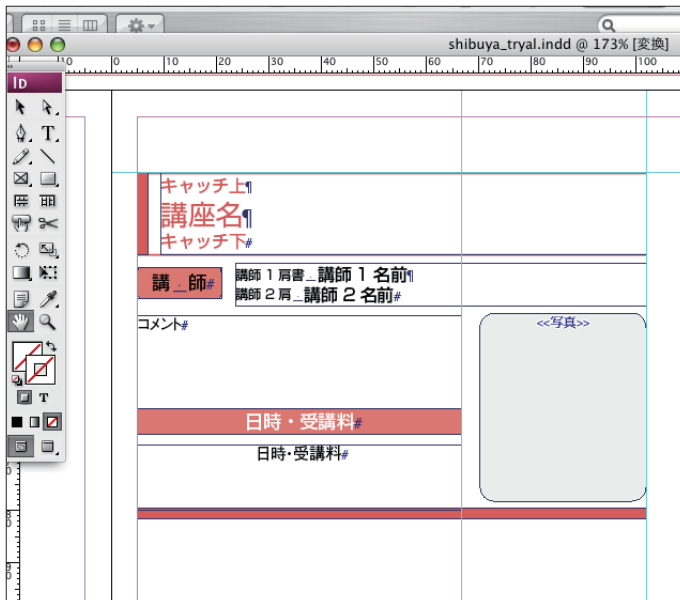


このようなカルチャースクールカタログを作成する時、各コマの文字や写真の流し込みを自動化する作業を検証してみました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	キャッチ	講座タイトル	キャッチ下	講師1氏名	講師2氏名	講師3氏名	講師4氏名	講座の概要	自前・受講料	写真	
2		町歩き・江戸の面影を探す ～町歩きを中心に歴史を学ぶ講座～	～歴史資料をもとに江戸の面影を探そう～	立正大学講師 高尾 善希				近年新発見の絵巻資料や考古学資料をもちながら、「景観」の生活にむくむく「江戸時代」を解説します。教室での授業、実際に町歩きすること、江戸時代の建物にも実際に感じられるでしょう。	3/21(土) 10:30～18:00 一般料金 4,450円 ※交通費別途 申込先払締め 3/17(火)	/images/sugumo.jpg	
3		折形体験講座	～江戸文化に絡んで～	東横学園女子短期大学准教授 佐賀 淳子	有馬 淳子			折形は奥ゆかしい日本人の心を象徴する美しい物みの文化です。難易度をつけて、お正月につづ、お正月にそれ以外の折形も取り扱います。江戸文化のたぐひのないなれた伝統の折形を現代に合わせて作り手になります。	3/8(金) 10:30～12:30 一般料金 2,400円 申込先払締め 3/7(木)	/images/origami.jpg	
4		一首手流語家による歌い聞 音楽へ行こう！～新巻 未広子～	～新巻 未広子～	流語家 三遊亭 天どん				新巻の流語家による流語鑑賞のための特別講座です。前日に教室で流語の楽しみ方、音楽の歴史や楽しみなどの解説を行います。新巻の歌い聞に合わせ、流語の楽屋を見学し、終日音楽の楽屋鑑賞を堪能します。	3/8(金) 19:30～21:00 一般料金 2,400円 申込先払締め 3/7(木)	/images/rakugo.jpg	
5		宝生流 謡曲・仕舞		重要無形文化財総合指定保持者 影山 三池子	宝生流歌舞師 小島 耕二郎			謡曲コースは、発声・ふしのうたい方などを「稽古場」でおこなうことにより習得し、またおこなう方々も指導で基本が身につくよう指導します。仕舞コースは、かまど・足のはびきなどの基本動作について先生指導で舞臺により指導します。曲の表現がより深くなり、美しいものにするために、謡曲・仕舞の両講座を併せて受講されることをおすすめします。特設内1人20分程度の個人指導となります。	1/26(月) ①15:00～17:00 ②17:30～19:30 一般料金 ①②各1,500円 ※交通費別 1/23(金)	/images/hoshiryu.jpg	
6		いばき組による新巻の「マクス」公演を深く観る	～新巻の公演を深く観る～	ペンタゴステアプロデュースの演出者 佐賀 淳子	人形劇団ひとみ座 北島 洋子	片岡 真	劇作家 松岡 和子	ゾルムメの書いた作品世界を、開いた演劇や人形がはからせて、新巻の手で観ていくお楽しみ公演の「マクス」公演をより深く観ていきます。	3/7(土) 18:00～19:30 一般料金 2,400円 申込先払締め 3/4(木)	/images/ika.jpg	
7		松山利一郎とくみみ劇人形を楽しむ	～舞台鑑賞と出演者の交流～	監督／松山利一郎 演出監督 出雲野 貴子	松山 利一	松山利一郎 代表	清水野太郎	ゾルムメの書いた作品世界を、開いた演劇や人形がはからせて、新巻の手で観ていくお楽しみ公演の「マクス」公演をより深く観ていきます。	3/7(土) 19:30～21:00 一般料金 1,500円 申込先払締め 3/4(木)	/images/furumime.jpg	
8		ロマネスク芸術	～その特異な美 美術史家	池田 健二				ヨーロッパ社会が繁栄と繁華の時代を迎えた11～12世紀。信仰への情熱がすべての教会建築に注ぎ込まれました。斬新しく、異質な美観に満ちたロマネスク芸術について、スライド映像を通じて考察し、その魅力に真実から感じます。	3/12(木) 15:20～18:00	/images/romanesque.jpg	
9											
10											

クライアントからの原稿はExcelで支給されたが、項目の入れ方が異なっていたので、レイアウトに沿って列を追加して整理する。写真や図版と一緒に配置したいものもそのデータアドレスと名前を追加しておく。写真や図版の名前は半角英数字で、2マスを使用する場合は、1行分00などのダミー行を入れておく。

このExcelデータを内校または初校しておけばさらに効率的だ。完全に完成したらcsv形式で保存する。



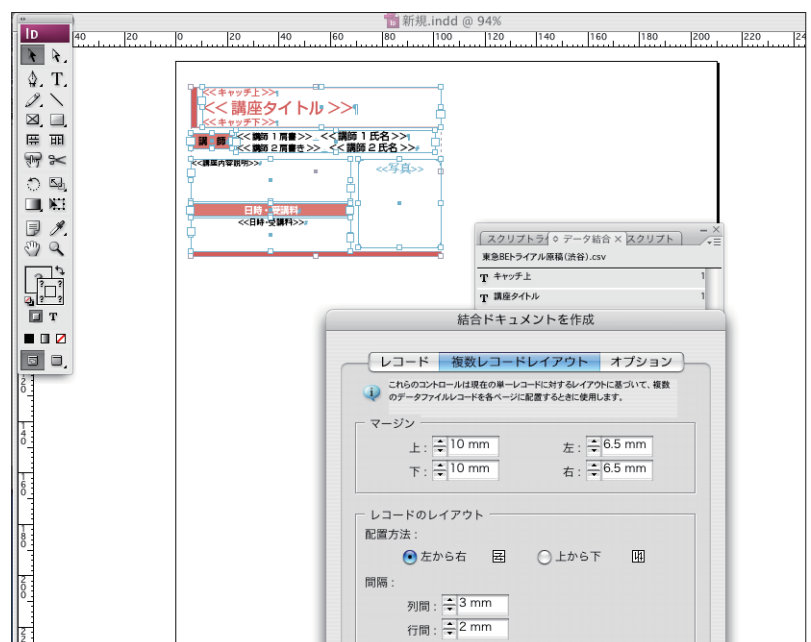
Inddでレイアウトコマのひとつを作る。タイトルや内容は具体的なものでなく一般的な表記にしておく。

見本の場合、キャッチが上につくものと下に付くものがあったので2種類のキャッチを入れてある。全体の構成と格コマの関係を把握しながら制作する。写真や図の画像boxも作ってそのなかに文字を入れておく。各文字は段落スタイルあるいは文字スタイルを適用しておく
ここで作成されたコマがベースになるので、後で各コマを調整しなくてよいようにしっかり構成しておく。



Inddのデータ結合を使用してコマ内の文字に先ほど保存した csv 原稿の各列や写真等を割り当てていく。各コマに必ず入るものや文字は固定アイテムとして扱う。

複数レコード割付で各コマの間の数値を入れていく。あらかじめコマの位置やサイズを計算して設計しておく。





流し込みの結果、新しいファイルが作られる。1ページに入りきれないときは新規ページが作成される。各コマのなかでキャッチの無いところや講師が1名のところ等があるので、これはレイアウトチェックしながら直していく。オーバーフローしているものは字詰めや長体で修正していくが、文字をレイヤー扱いにして各ページでExtendScriptで処理していくこともできる。図版や写真のサイズ調整も行う。

流し込みの後で個々のコマを調整していく。通常の方法ではベースレイアウトを作成してtxtをコピー&ペーストして、画像を配置していくことになる。その時ひとつずつ作業していく手間が膨大なものとなり、またコピー&ペーストの段階でミスが発生することが多い。

クライアントからの原稿調整とこれらの自動化を組み合わせることで、作業の手間とミスは大幅に減らすことができます。これはコストの削減の可能性にも繋がっていきます。

作業効率化のためのフローチャート

